

「母の日、いつもありがとう」という言葉をもらうと、自分が母になったことにハッとします。息子が1歳ヶ月を迎えた今でも、母になったという感覚は少しくすぐったくて不思議なものです。

母の日を前に、母に「大好きだよ」という言葉を最後に伝えたのはいつかなと考えました。

子供の頃は当たり前前に伝えられていた言葉。

息子が生まれ、母に助けてもらう事も多い今、ちゃんと気持ちを伝えることができていたのかと反省...

日々の小さな「ありがとう」は伝えていても、大切な想いは恥ずかしい気がして自然と遠ざけてしまっていました。

自分が年齢を重ね、当たり前ですが親も同じように歳を重ねます。いつの間にか背中を見て「小さくなったかな」と感じることも増えてきたこの頃。

あと何回、この季節と一緒に迎えられるのかなと思いを巡らせて目頭が熱くなることもあります。

子供を授かることが難しいと思っていた私が「孫は猫ちゃんだよ。子供の顔を見せてあげられなくてごめんね」と伝えた時、

母は笑って「猫ちゃん可愛いから嬉しいわ！色々な人生があっていいじゃない？」とってくれました。

こんなふとした言葉に、これまで何度助けられてきただろう。母となり、改めて感じる親の偉大さ。

同じようにはなれなくても、これから息子が成長していく中で私らしい母親に、そして私たちなりの親子のカタチを築いていきたいと思います。

そして大切な人に伝えたい言葉は、伝えられるうちに届けようと思います。

栗原東 愛おしい時間
江田島市子育て応援大使の ~私を強くも弱くもする~

